

六盤山の
難工事

沙漠中の
給水と沿
路の給炭

跋渉せざるべからず。然れども、今之に沿うて鐵道を敷設せんとせば、優に是等の諸難路を避けて、易々たる工事を以て竣工すべきは、現下歐米各國に於ける幾多の既設未設鐵道の大工事の比に非ざるなり。黄河の如きも、其上流に於て横斷すれば、其架橋は格別の難工事に非ざるべく、其他幾多の河流、皆易々たるものゝみ。數個の山嶺も、多少の迂回或は開鑿を以て通過するを得ん。自餘七八分は皆坦々たる地上に敷設し得べきも、獨り六盤山に於ける隧道工事のみは、比較的難工事とすべし。

工事は、獨り六盤山の難且つ、大なるもの有るの外、他は概ね容易なるも、彼の戈壁即ち沙漠帯に於ける工事、及給水、并に各所に於ける石炭の供給如何は、各人の疑問として、掛念する所ならん。

然り、戈壁帯に於ける工事は、左程の難工事に非ず、最も恐るべき風害地域は少距離に過ぎざるべく。給水も亦多少の設備を施せば、決して不可能に非らず。且つ石炭の如きは、沿道附近の山谷に求むれば、供給に餘り有ること、現に事實は之を證明し在り。概して地盤堅くして工事容易なり。